

シャンブ・プラサド・マラシニ 研究員



私の名前はシャンブ・プラサド・マラシニです。ネパール西部のシャンジャで生まれ、ネパール南部のナワル・パラシで育ちました。学業の傍ら 1989 年には金融業界で働き始め、1995 年からは内務省に勤務しています。

私は防災の専門家として中央及び地方政府のさまざまなポストに就いてきましたが、とりわけ、ネパール各地の地方政府事務所で行政官としてのキャリアを積んできました。ネパールでは、地方政府が防災活動における主要な役割を担っています。

現在の法制度では、内務省が国家レベルでの防災活動の中心的役割を担っており、その頂点に中央災害救援委員会が設置されています。同委員会の議長は内務大臣が務め、委員は 30 以上の関連省庁の代表から構成され、事務局は内務省防災部が運営しています。事務局は、防災に関するすべての活動を円滑に行い、捜索・救済・救援活動を監督する任務を帯びています。つまり、私が勤務する防災部が防災に関する全ての活動を所掌しているのです。私の主な職務は、防災サイクル全般における部長の業務を補佐し、各省庁機関のみならず国際機関との協力関係を構築することです。

このたび、私は ADRC の客員研究員として勤務することとなりました。客員研究員プログラムは、メンバー国との防災情報や経験を共有し、防災情報ネットワークを構築する好機を提供してくれるものです。

このプログラムは私にとっては、個人的な能力の強化とともに、組織的な防災能力の向上に役立つと思います。さらに、専門家の育成や効果的な政策・計画の立案、継続的な研究による災害対策の発展にも貢献するでしょう。私は、日本での 6 ヶ月間のプログラムを通じて、ネパールの防災能力強化に向けた取り組みに寄与することを確信しています。